

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-1-4		事業名	公共施設緑化のしくみづくり事業
担当	環境局みどりの推進部みどりの推進課 西 211-2522			
全体計画（当初）				
事業内容	市街地の緑を効果的に増やすために、公共施設の緑化を重点的に進め、都市緑化の中心的な役割を担うとともに、民間への先導的な手本となることによって、民間施設の緑化を誘導し、良好な都市環境の創出を図るものである。 <取組み内容> 市有施設の緑化...市役所庁舎、学校等市有施設の緑化を行い、市街地のみどりづくりに取り組むとともに、緑化の手法について検証を行う。 公共施設緑化基準制定...条例で規定する以上の緑化基準を制定する		<年度別の事業内容>	
			公共施設緑化 ・H16 学校・時計台の緑化 22,000千円 ・H17 学校・庁舎等の緑化 20,000千円 ・H18 学校・庁舎等の緑化 20,000千円	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	学校緑化 5箇所 18,957千円 時計台緑化 2,035千円		学校15箇所・児童会館5箇所の緑化 28,288千円	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	学校10箇所・児童会館3箇所の緑化 27,590千円		これまで、時計台のほか、学校・児童会館38箇所緑化を進めてきた結果、公共施設における新たな緑の創出による民有地における緑化の先導的な役割を果たした。 また、学校における緑化は、子供たちへの緑化に対する意識の高揚が図られた。	
		課題		
		広く市民へ建物の施設緑化の普及・啓蒙を進めるためには、学校のみならず庁舎等の公共施設での取組みを進める必要があるため必ずしも十分な効果が得られない場合もあることから、新築・改築施設における施設緑化の充実を進める必要がある。		
19年度以降の方向性・事業の予定				
平成19年以降は、民有施設における緑化の啓蒙・PRを広く市民に図ることから、学校緑化に加え庁舎等の市有施設での取り組みを進めていく				

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 (単位:千円)

施策体系コード	3-1-4		事業名	公共施設緑化のしくみづくり事業
---------	-------	--	-----	-----------------

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	22,000	20,000	20,000	62,000	-
	財源内訳					
	国・道支出金				0	-
	市債				0	-
	その他				0	-
	一般財源	22,000	20,000	20,000	62,000	-
実績	事業費	20,992	28,288	27,590	76,870	124.0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
	一般財源	20,992	28,288	27,590	76,870	-

計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)

[全体][16年度][17年度][18年度]
 H17・18年度は、学校緑化施工箇所を5箇所から10箇所へ増加した。

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)
学校敷地緑化の整備済学校数(累計)		5	20	30	20

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨 臨時	枠内外 枠外	16年度	17年度	18年度	計
公共施設緑化推進費			20,992	28,288	27,590	76,870
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			20,992	28,288	27,590	76,870